

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	乃木將軍追悼三首：文苑
Author(s)	陶山，喜六
Citation	龍南會雜誌， 1 4 7： 5 5 - 5 5
Issue date	1912-11-18
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/6399
Right	

め盡して、秋津洲、國の光を、天つ空、日の照るきはみ、かぐやかし、天津日繼は、天地の、榮のきはみ、
安らけく、幸くいませと、朝宵に、つかへまつらむ、吳竹の、伏見の山に、神ながら、鎮りませる、天皇も、
さかゆく御代の、行末を、みそなはしつゝ、護りますらむ。

反歌

みひかりのかぎりなきよに生れあひててゐる日のくれし日にもあひけり

明治天皇奉悼歌三首

陶山喜六

天つ日のかくれいまして天が下青人草の色なかりけり

諒闇の秋といふをよめる

千萬の民の涙やそひつらむいとしぐるゝこの年の秋

御大葬の日よめる

いどぶなほほさぬ袂をしぼるかなかへりきまさぬけふの御幸に

乃木將軍追悼三首

陶山喜六

のこしたく君がまことの言の葉はいくよの春かしげり行くらむ
天地もつらぬく君がまごゝろはやしきの外にかぐやきにけり
大君のみあとしたひてゆく君の赤き心を心ともがな